

保健 だより

問 健康保険課健康係 TEL 0240(34)0249

子どもの定期予防接種のお知らせ

子どもは病気にかかりやすく、かかると重症化することがありますが、予防接種で予防できる病気もあります。

年齢や接種間隔を確認し、計画的に接種しましょう。

■ 4月からの定期予防接種の変更点

1. 5種混合ワクチンの定期接種化により「5種混合ワクチン(4種+ヒブ)」の定期接種化が始まりました。

ワクチンデビューの際は、5種混合、B型肝炎、ロタウイルス、小児用肺炎球菌を同時接種で受けることができます。

2. 小児肺炎球菌ワクチンが従来の「13価ワクチン(沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン)」から、新たに2種類の肺炎球菌に対応する成分が追加された「15価ワクチン(沈降15価肺炎球菌結合型ワクチン)」に変更になりました。



健康知恵袋

知ってください 認知症 ①

認知症患者の孤立を防ぐには、家族の支援だけではなく、「地域の目」が大切です。認知症についてより身近な問題として考えていただけるよう、今月号から隔月で有識者によるコラムを始めます。



浪江診療所

本 田 拓 先生

プロフィール

横浜市出身。68歳。
2020年4月から浪江診療所常勤医。
「患者に寄り添った診療」を心がけます。

規則正しい生活が一番大切です

50歳を過ぎると、誰でも物忘れをするようになります。「このままでは認知症になるのかも？」と不安がよぎるようになります。実際、我が国の認知症の患者数は年々増加し、**80歳以上になると3人に1人が認知症の疑い**があるとされています。認知症になると、単に物忘れがひどくなるだけでなく、不安や不穏、焦りなどの様々な周辺症状が出現し、安寧であるはずの老後の生活が一変することになります。がんや心臓病になるのも困りますが、**認知症は最もかかりたくない病気の一つではないでしょうか。**

最近の話題は、「アルツハイマー型認知症」に対する治療が開発されたことです。これまでは進行を遅らせる薬剤しかありませんでした。現時点では、すべての認知症患者に使用できるといってわけではありませんが、朗報であることは間違いありません。認知症は、生活習慣と大きく関係します。**適度に運動をすること、たばこを吸わないこと、酒量を控えること**は、認知症から体を守る第一歩となります。ぜひ、皆さんも実践しましょう。